

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)	◎	コンビニ（店長）	販売量の動き	・全体的に好調だが、特に販売数が増加している。1人当たり販売数の増加により客単価が上昇し、売上も増えている。
	◎	コンビニ（商品企画担当）	単価の動き	・秋に入り行楽客の増加が顕著であるほか、飲料など値上げの影響による単価の上昇がみられる。
	◎	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・今月は来客数が比較的良かった。ある程度成約もでき、ここ最近では動きの良い月となった。
	◎	タクシー運転手	お客様の様子	・ハロウィーンやブラックフライデー等ちょっとしたイベントがあるため曜日に関係なく繁華街に客足がある。特に最近各所にイルミネーションが飾られてムードが高まり、出足が良くなっている。
	○	一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	販売量の動き	・政府の経済対策は動きが良くなっている。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・長く続いた暑さがようやく終わり、観光客は久しぶりに順調な動きとなった。秋の行事で観光客の動きは、新型コロナウイルス感染症発生前と比較して90%程度回復している。個人客はおおむね新型コロナウイルス感染症発生前と同水準に回復している。団体客や観光バスは長い間低迷していたが、ようやく90%程度回復した印象を受ける。
	○	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・気温が低下したこともあり、コートやダウンの需要は引き続き鈍いものの衣料品全般に動きが出てきた。円安に振れた影響かもしれないが、アジアや特に中国からのインバウンドが目立ち売上を伸ばしている。高額品も一時ほどの伸びはないが順調に売上を伸ばしている。一方、食料品には節約志向が見受けられ、閉店前の値引き販売を期待する客が多くなっている。お歳暮も件数を減らしたり、送料込みギフトへのシフトが進んでいる。
	○	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・インバウンドが好調である。
	○	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・寒さの到来が顕著なため、季節商材の動きが前年より活発である。ただし、米など値段が高くなっている物もあるため、その部分の消費は伸び悩んでいる。
	○	コンビニ（店長）	販売量の動き	・おにぎりやアイスクリームが売れている。キャンペーンくじの動きも好調である。
	○	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・寒さが段々と厳しくなってきたため防寒衣料品の販売数が増えてきた。ただし、建設業の客は仕事が減少しており、まとまった注文が減っている。総合的には前年売上を僅かに超えている状況である。
	○	衣料品専門店（売場担当）	販売量の動き	・売上は天候に大きく左右され、寒くなってスーツを買い求める客が増えた。これまでと違い下見客ではなく購入客が多く、単価、売上共に上向いている。
	○	家電量販店（フランチャイズ経営者）	単価の動き	・来客数は相変わらず微減だが客単価が上がっている。テレビやパソコンの買換え、セキュリティ機器の購入も増えている。
	○	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・新型車種が複数発表され、受注は増えてきた。自社の車は2～3年前と比べ価格が上がってきたが、他社の車も値上がりしており、それなりに予約は入っている。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	来客数の動き	・来客数は引き続き堅調に推移している。
	○	一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・年末に向けて忙しくなっている。
○	都市型ホテル（総支配人）	販売量の動き	・宿泊はインバウンドのお陰で好調である。宴会も新型コロナウイルス感染症発生前の水準に戻っている。レストランは、夜が弱い。	

○	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・年明けの旅行受注が入ってきている。特に海外旅行の間合せが増えてきている。
○	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約数はさほど伸びていないが、解約数も前月より落ち着いており、景気が良いとまでは言えない状況でも良く感じている感触がある。
○	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	来客数の動き	・ウォーキング企画やクラウドファンディングへの参加者数は想定以上となり、台湾からのインバウンド等ツアーリストの予約数も増えてきた。
□	商店街（代表者）	単価の動き	・商店街への来客数は高止まりしており、週末は真っすぐ歩けないくらいの人出である。ただし、相変わらず客単価は低い。
□	商店街（代表者）	販売量の動き	・原材料価格の高騰が止まらず、物価高がずっと続いている。それに伴って可処分所得は伸びないため消費が停滞している。特に日用品以外の耐久消費財は全く売れない。
□	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・来客数は僅かではあるが減っている。花の価格も仕入値の高騰が続いているため前年より値上げせざるを得ず、食料品のようにどうしても必要な物ではないため、厳しい状況である。
□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・飲食店への来客数は減少が続いている。
□	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・お歳暮の早期予約が始まったが、物価高の影響もあり価格の安い物が好まれるようで、前年の単価から下がっている。消費者には支出をできるだけ抑えようとする様子がみられる。売上は維持できているが、客の財布のひもは固い。
□	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	販売量の動き	・来客数は増えているが、なかなか購買に結び付かない。
□	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・急激な気温の低下により秋冬向けの重衣料の販売が上向いている。9月から10月は停滞していた売上前年比が、3か月前と同水準まで回復している。
□	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・入店客数は好調に推移するものの、買上率が少し低下している。
□	百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・リニューアルした特選ブランド品や高級時計の売上は堅調であるが、値上げの影響等もあるためか、ファッション品や食品の動きが良くない。インバウンドも下がってきているが、地方のため割合は低く影響は少ない。
□	百貨店（販売担当）	単価の動き	・客の購入マインドは前月と同様に高い。高単価商品の稼働はやや減少し比較的購入しやすい価格帯が稼働しており、物価高の影響も感じる。
□	スーパー（店長）	販売量の動き	・商品単価が上がっており、買上点数を上げるためチラシ等で安売りをしても安い物だけしか売れず、余分には買わないため売上が伸びない。
□	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・土日の来客数は余り変わらないが、平日の来客数が大きく減少している。
□	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・売上予算達成は続いている。年末年始も期待できそうである。
□	スーパー（総務）	販売量の動き	・売上、来客数共に前年を若干下回る状況で、毎月じりじりと下がっている。
□	スーパー（支店長）	お客様の様子	・販売価格の上昇が変わらず消費者は購買を控えているが、年末年始に向けては特需が期待できる。季節的にも寒さが厳しくなり、いよいよ冬物に動き出しがみられる。
□	コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・前月に引き続き好調を維持している。特に交通拠点に位置する店舗ではインバウンドが目立っている。
□	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・今月前半は気温の高い日が多く、飲料や酒類の販売が例年と比べて好調であった。後半は冷え込む日が増え、ホット飲料や中華まんなど温かい商材の販売が多くなり、売れる商品にメリハリがあった。
□	コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・来客数はやや増加傾向にあるが、値上げ商品に対する客の反応が悪く、売上を伸ばし切れない状況である。

<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・繁華街に立地しており、週末は多少にぎわうが平日はそれほど客入りのない状況がしばらく続いている。昼間はインバウンドが多少みられるようになった。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・11月の売上は前年比105.5%と好調である。衆議院選挙など大きなトピックスが発生したが、小売業界において大きなトレンドの変化はない。3か月前比で変化はないという実感である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（販売企画担当）	競争相手の様子	・ファッションメーカーからは、コスト高でこのところずっと売行きが悪く、季節感もなくなり忙しい時期がなくなっていると聞く。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・工場の来客数が減少し、自動車販売店への客が増えているようにみえる。新車購入時の初回車検まで整備パック販売などで町工場への来客が減っているのかもしれない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客との会話では、物の価格が1.5倍くらいになっているため今必要のない物にはなかなか手を出しづらいとの声を聞く。やはり生活防衛の意識が強く、景気が力強く回っているようにはみえない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・人気車種の多くが生産停止になっており、販売可能な車種を売るだけであるが、その車種も納期が半年以上掛かるようになっている。売りたいのに商談ができない状況が数年続いている。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営企画）	来客数の動き	・相変わらず週末営業は前年から大きく伸長しているが、平日の夜が不調である。生活スタイルの変化であり、この基調は変わらない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・客は年齢層が高く年金生活の人もある。新型コロナウイルス感染症で亡くなる人もいて、売上も減っていく状態である。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [ワイン輸入]（経営企画担当）	単価の動き	・あらゆる物の価格が上がり、客も大変気になっている。一方、消費マインドはそこまで悪くなく、値上げした価格で商材は購入されている。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・今月はやや良くなっている。賃金の上げ幅より物価上昇率が高いといわれているが、レジャー関係にも何とか消費が回っている様子である。秋の行楽シーズンで、9月から10月は旅行を控えていた人が今月は動いたと考えられる。前年比では10%ほど来客数が増加している。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	それ以外	・気候の影響で野菜が値上がりし、米の価格も高止まりしており、諸物価の高騰で消費意欲が低下している。昼のオフィス街では相変わらず500円弁当に行列ができており、財布のひもは固い。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・秋の行楽シーズンもピークで、旅行申込数や旅行者数はかなり多くなっている。一方、物価高騰や商品値上げが止まらないため消費の部分は節約して予算内に抑えて旅行している様子である。今年前半に比べて、景気は伸び悩みの状態である。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	お客様の様子	・タクシー客の利用状況に大きな変化はない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・機器等の値上がりが見込まれるなかで、オンプレミスからクラウドリフトへの動きが強まっている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（サービス担当）	お客様の様子	・家計負担を少しでも減らしたい客が多く、固定電話を解約する人が増えている。ただし、電話がないと不安だと、解約後に再度申込み高齢者も多い。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク（職員）	単価の動き	・入園者は微増で、客単価にも変動がなかった。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク職員（総務担当）	来客数の動き	・今月は気候の良さに加えて各種イベント開催の効果もあり、前年よりも集客が伸びている。今年初めて月次目標値も達成見込みである。
<input type="checkbox"/>	観光名所（案内係）	単価の動き	・これだけ天候が不順だと外出する人が少ない。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・入場者数は前年同月とほぼ変わらず推移している。3か月前と比べると、今はゴルフシーズンで入場者数は多い時期であるが伸び悩んでいる状況である。ここ数か月間景気は変わっていない。

□	美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・引き続き商品キャンペーンを実施しており、この時期に1年分の商品をまとめて購入する客がいるため、これまでと余り変わらない。
□	美容室（経営者）	お客様の様子	・客からは物価上昇を嘆く声を聞く。特に食品の値上がりが家計を圧迫しているという声が多い。
□	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・良くなる兆候は全くない。小規模案件が僅かに発生するのみである。
□	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・建築資材の高騰や職人の人件費高騰により、横ばいである。
□	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	販売量の動き	・閑散期になっているためかなり厳しい状況が続いている。
▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・いろいろな商業施設でも客入りが少ない。主食である米を始め余りにも食品の価格が上がりすぎていることが原因とみる。
▲	百貨店（売場主任）	単価の動き	・来客数は変わらない。土日は家族連れの来店が増えているが、土日の売行きが良いと反動で月曜日の売上が悪くなる。高額商品の売行きが悪く、5万円以下の商品が多く売れている。
▲	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・購入点数、購入意欲が低下している。
▲	スーパー（店長）	来客数の動き	・ポイントアップセール等でのまとめ買いで、通常時は買い控えが続いている。
▲	スーパー（店員）	販売量の動き	・来客数は変わらないが販売点数が落ちている。野菜類が高値のため購入意欲が落ちている。
▲	スーパー（店員）	単価の動き	・一気に冷え込み鍋関連商材の肉や野菜などの需要は高まったが、猛暑の影響でキャベツや白菜などの価格が高止まりで、半分若しくは4分の1などカット野菜の購入が多くみられる。
▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・年賀ハガキの低迷など来店動機が減っている。価格競争力で劣るコンビニには足が向かない客も依然多い。新規の宅配サービスもカンフル剤とはなっていない。
▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・物価高の影響で節約志向が強まり、少しでも価格の安いディスカウント店へ足が向く傾向がある。
▲	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・メーカーから最近特に同業者で廃業が多いという話を聞く。客からは、以前は百貨店まで出掛けていたが負担になってきて外出は通院くらいという話を聞く。客に合わせた仕入れをしており、一見客からリピーターになる客もいる。現金支払のみの路面専門店でも客層は良いが、比較的高額商品が多いため売上は変動幅が大きい。
▲	家電量販店（店員）	来客数の動き	・滞在時間が短く必要な買物が終わればすぐ帰る客が多い。無駄な買物はしたくないようである。
▲	家電量販店（営業担当）	単価の動き	・寒くなる時期が遅かったためか冬物商材の動きが緩やかであった。調理家電の販売単価は良かったが、他の家電は全般的に単価が厳しかった。
▲	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・年末に向けて動きが悪くなっている。これといった話題車もなく、盛り上がりには欠けている。
▲	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・国内でもどんどん貧富の差が広がっている。特に年金生活者は、最近の物価高騰により生活が厳しくなっている。
▲	その他専門店〔貴金属〕（経営者）	来客数の動き	・衆議院選挙、米国大統領選挙や地元の首長選挙などが重なり、来店客の動きが鈍い。社会情勢への不安からか節約志向が強く、消費意欲が減退している。
▲	その他専門店〔書籍〕（社員）	販売量の動き	・円安の影響で輸入商品価格の高止まりが続き、販売量が伸びない状況が続いている。
▲	一般レストラン（経営者）	それ以外	・アルコール等の飲料を始め食材の仕入値は大きく上がっている。手に入らない物もある。
▲	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	お客様の様子	・世界的な政治の不安定感が消費者心理に作用している。

	▲	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・11月出発分までは中間層の客にも動きがあったが、12月から春休みにかけて予約の動きが非常に悪い。客の話では、円安がやはり懸念材料になっている。旅行商品自体も高くなり現地の物価も高い。ハネムーンの行き先が国内に移行しており、海外ハネムーンは僅かな市場のみ動いていて需要回復はかなり難しい印象を受ける。国内旅行市場は、大手ネットサイトから自分で手軽に手配できるため旅行会社は負けてしまう。ウィンターシーズンの北海道リゾートも、ホテル代が高すぎて日本人には手が出ないくらいの価格まで値上がりしている様子である。
	▲	タクシー運転手	来客数の動き	・具体的な経済政策がみられず、客足が悪い。
	▲	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・冬季になり閑散期である。
	▲	パチンコ店（経営者）	来客数の動き	・毎年この時期は来客数、売上共に1年を通じて最も少なくなる。
	▲	理美容室（経営者）	来客数の動き	・客が余り来ない。
	▲	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	単価の動き	・原価が高騰している。
	▲	設計事務所（職員）	お客様の様子	・客から景気の良くなるような話を聞かない。
	▲	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	それ以外	・物価高騰が当たり前になり、高い価格が定価になりつつある。水道光熱費やガソリン代等も下がらず、スムーズな受注には至っていない。前年と比べても受注量が減っている。景気回復にはまだまだ時間が掛かる。
	▲	その他住宅〔展示場〕（従業員）	お客様の様子	・業務縮小や値下げ依頼の話は出るが、新規案件は全くない。
	×	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・原因は分からないが、今月は非常に売上が悪かった。
	×	スーパー（店長）	単価の動き	・前年の客単価を割り込み始めてきた。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・暑さが続いたと思えば急に寒くなり、高齢化している客はなかなか外出しない。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・客は、金利が上がることを心配して買い控えている様子である。
	×	住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・ハウスメーカーでもかなり苦戦していると聞いた。
企業 動向 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	受注量や販売量の動き	・季節的な青果物や農産物の動きが活発になり、その他の物流でも少し荷動きが良くなった。3か月前と比較すると景気は良くなっている。
	○	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・今月は東南アジア向けに半導体用設備への投資が急激に増えた。一方、欧米の半導体用設備への投資は余り増えていない。
	○	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	受注量や販売量の動き	・来年初頭の受注に向けて、部品等の注文が入り始めた。
	○	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・長い猛暑が続き秋が短くなっているためか、秋季イベントやセールは今一つだったが、ブラックフライデーが始まり人出は増えてきている。
	○	会計事務所（職員）	取引先の様子	・決算期を迎えて決算ボーナスを支給する法人が増えている。
	○	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引量は前月より少し減少したが、それほど悪い状況ではない。新規の案件が入っていない点は心配であるが、他社ももっと下がっているという話を聞く。
	□	食料品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・販売量、受注量共に前年と比べて大きな変化はない。
	□	化学工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・現状では大きな需要動向の変化はない。

□	化学工業（総務秘書）	それ以外	・食料品を始め全てに物価高を感じるが、賃上げも行われているため金の動きとしては好循環にある。経済対策として低所得者層への支援が挙げられているが、報道を通じて聞くだけで街の景況感からは伝わってこない。
□	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年末に向けて荷動きが活況になるべきところが全くその傾向はなく、むしろ10月以降も荷量が徐々に落ちている。
□	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・今後国内や米国の選挙後の影響が出てくるだろうが、前月と比べ特段変化はない。
□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年比5%ほど増加しているが価格の上昇によるものであり、生産量は横ばいが続いている。
□	輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	・相次ぐ値上げや野菜の価格高騰で、消費者はやりくりが難しい。
□	建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・建設業の請負としては、成約は予定どおりだが利益率の低下が課題である。住宅販売に関しては、年末が近くなり客の動きは鈍くなった印象で成約数も伸び悩んでいる。
□	建設業（営業担当）	取引先の様子	・業務の見積依頼等は受けるが金額によっては見送っている。公共関係の入札や見積りの提出時にも、来期の予算がかなり削減されるという話を聞く。景気はどちらかという下向きであり、少なくとも上向きの様子は見受けられない。
□	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内の日用雑貨、工作機械関連や建築資材関連など幅広い荷主で、物量ベースでは前年比5%ほど減少している。
□	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・物流の2024年問題により車両不足でかなり苦勞するとみられたが、4月以降は若干受注量が減っている。荷主の話では、生産量自体が落ちているため出荷量も減っているとのことである。生産量減少の原因は分からない。
□	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・輸送コストや人件費等は上昇しているものの、運送業界にはその恩恵がない。逆に、国内物量は鈍化傾向で経費等の圧縮を迫られている状況である。
□	輸送業（エリア担当）	競争相手の様子	・同業他社では荷物の伸びが鈍化していると話しており、自社の印象も同様である。例年は年末に向けて1番の繁忙期であるが、11月末時点でも年末の予想がつかない状況である。
□	通信業（法人営業担当）	それ以外	・地元の首長選挙があり、市民は家計だけではなく将来について真剣に考える機会を持った。候補者の施策では景気回復は期待できず、現状維持が精一杯である。
□	金融業（従業員）	取引先の様子	・円安による物価上昇に伴い消費行動をセーブする状況が続いているが、年末年始が近くなって少し活気付く気配もみられる。業種によって景気が違うため判断しづらい面もある。
□	金融業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・建設関連の中小企業においては、競争入札の激化や賃上げに伴う一般管理費の増加により、利益率が低下している。
□	不動産業（経営者）	それ以外	・例年同様に晴れの日が多く寒さが緩やかだったこともあり、前月同様に外出や遠出をする人は増加傾向である。今月の売上も前年を上回る状況となっている。
□	新聞販売店〔広告〕（店主）	取引先の様子	・新規の設備投資や買換え時に、値引き幅に限界があるため新古品のメンテナンス機器を提案される。通常の販売では購買意欲に結び付かないため、売手も試行錯誤している様子である。
▲	食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・物価高騰により生活者の購買意欲が一段と低下している。本当に必要な物しか購買しない傾向があり、し好品の消費意欲は極めて弱い。
▲	窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・製品の値下げ要求はないが、製品寿命を延ばすための品質改良を望む声が多くなっている。客には取引先からコストダウンの要求が来ているようで、厳しさが増している。

	▲	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・受注量、販売量共に減少傾向である。
	▲	金属製品製造業 (従業員)	受注量や販売量 の動き	・足元では仕事の動きが余り良くなく、受注残が目減りして いる。
	▲	電気機械器具製 造業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・人材不足の影響か、販売量も減少傾向にある。
	▲	通信業(総務担 当)	それ以外	・最近は特に日々の食品購入での支出割合が高まっており、 他の欲しい物が購入できない。食費の節約ばかりを考えてい ると、消費マインドは改善しない。
	▲	金融業(従業 員)	それ以外	・食品や日用品、各種料金など身の回りで物価上昇が止まら ない。賃金の上げは追い付いていないようにみえる。
	▲	公認会計士	取引先の様子	・最低賃金の引上げで人件費が増加し、企業の収益性は少し 低下している。郵便料金の値上げや中東情勢の影響で原油価 格が不安定なことにより、物流コストも増加している。個人 消費もやや低下しており、特にB to Cのビジネスを展開し ている企業では、売上の伸びも鈍化傾向にある。
	×	電気機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・取引先全般で設備投資が極端に減っているため、当社の売 上も大幅に減少している。
雇用 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・11月より求職者の動きが活発となり、成約数が前年比30% 上昇した。
	○	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・宴会での利用が増え、求人数が増えている。
	□	人材派遣業(営 業担当)	周辺企業の様子	・引き続き物価高の影響もあり好転の気配はないが、新しい 政権に若干の期待を抱く企業も少しみられる。ただし、米国 大統領選挙の結果により輸出産業では関税等への影響を危惧 している企業も少なくない。
	□	人材派遣会社 (営業担当)	採用者数の動き	・求人数は引き続き多いが、採用条件に時間、経験、資格等 で特殊な要素があると採用できない状況が続いている。
	□	人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・ポジティブなニュースを見聞きしない。
	□	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・引き続き客からの依頼数は高い水準を維持している。
	□	アウトソーシ ング企業(エリ ア担当)	周辺企業の様子	・新車販売が堅調なメーカーもあるが、別の大手自動車メー カーでは認証不正問題の影響で再び生産ラインが止まり、引 き続き苦戦している。中小企業が抱える問題として、人材の 雇用維持、円安による物価や燃料価格の高騰等があり、継続 的な課題である。
	□	新聞社[求人広 告](営業担 当)	それ以外	・衆議院選挙後も期待された景気対策がみえない。
	□	新聞社[求人広 告](営業担 当)	周辺企業の様子	・国内外での選挙結果によって金利や物価など経済にいろ んな影響が出始めている。しかし、大きな傾向としては変 わっていない。
	□	職業安定所(所 長)	周辺企業の様子	・売上が上がる一方で光熱費や原材料価格の高騰により利益 率は低下しており、工夫により何とか黒字を保っているとい う企業が相変わらず多い。
	□	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・産業別の新規求人数は、建設業では微減となったものの、 製造業、運輸業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医 療福祉では軒並み増加した。結果的に全体の新規求人倍率 は、0.17ポイントの微増であった。
	□	職業安定所(職 員)	周辺企業の様子	・半導体関係の製造業からは、業績好調で今後の業務量も確 保しているという明るい見通しも示されたが、サービス関係 事業所からは、原材料費の高騰を価格に転嫁できず経営が苦 しいという声を聞いた。
	□	民間職業紹介機 関(営業担当)	採用者数の動き	・上期で採用できず下期も求人を継続しているが、企業側の 求める要件と転職希望者のスキルがマッチしないため求人が 残り続けている状況である。

□	その他雇用〔広告代理店〕（求人広告担当）	周辺企業の様子	・給料は上がっているが、それ以上に物価も上がっているため、景気が良くなっているとは考えられない。
▲	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・既存の派遣社員で1月からの転職希望者は前年より減少傾向にある。派遣先での直接雇用や派遣元での無期転換が増加している。
▲	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・3か月前と比べ倒産や人員整理に伴う早期退職など業績不振による離職者が目立った。
▲	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・有効求職者数を前年同月比で見ると、総数では15か月連続で増加しており、特に高齢者の滞留が増加している。
×	—	—	—